

オムロン株式会社

ブランドコミュニケーション部

TEL: 075-344-7175

2026年5月12日

オムロン 電子部品事業で、分社後の新ロゴを制定 品質・信頼に加え圧倒的な機動力で顧客の真のパートナーへ

オムロン株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役社長 CEO：辻永順太）は、デバイス&モジュールソリューションズカンパニー（以下、DMB）を7月1日に分社化し、Aratas 株式会社（読み方：アラタスカブシキガイシャ 以下、Aratas）を設立する予定です。この度、Aratas の新たなブランドロゴを定めましたのでお知らせします。



新会社 Aratas で代表取締役に就任予定の江崎雅彦（執行役員常務デバイス&モジュールソリューションズカンパニー社長）は次のように語ります。「Aratas は、DMB の意志を継ぎ、困ったときに真っ先に声がかかる——『最初に相談され、最初に試作を持ち込む（First One）』となり、顧客にとって長くお付き合いのできる真のパートナーとなることを目指しています。DMB の新会社名称 Aratas は日本発のグローバル企業として世界中のお客様と共に、社会の新たな明日を切り拓いていく想いを込め、日本語由来の「新たな」と「明日」を組み合わせています。力強いシャープな字体で、揺ぎの無い信頼性を表現し、さらに新会社が未来を切り拓いていくイメージを体現させました。

今回定めたロゴマークは、最初の「A」に隠された F（First）と 1（One）を組み合わせ、誰よりも早く価値を届け、お客様にとって No.1 であり続けたいという DMB の強い想いを象徴しています。オムロン・ブルーを踏襲しながら、日本のものづくり精神と揺るぎない意志を表すカラーとして、深みのある Aratas Blue を選択しています。

DMB は、1933 年の創業期に医療現場向け「レントゲン写真撮影用タイマ」の製造から始まったオムロンの祖業であり、リレー、スイッチ、センサ等のデバイスを中核に技術を蓄積してきました。これら高品質なデバイス群は、様々な産業の発展に貢献し、自動改札を含む無人駅システムなどの社会システム実用化を支える要素技術として、また、産業機械を中心とした制御機器事業の基盤を形成し、オムロングループの価値創造を支える技術基盤の一翼を担ってきました。

一方、現在、気候変動の深刻化や国際情勢の不安定化に加え、技術的には電動化・AI 技術の発展等の急速な変化が社会全体を揺さぶり、世界中の DMB の顧客も、世の中の変化に合わせた未知の領域に挑戦しています。

電子部品市場でも、競争環境が一変しており、不確実性を前提に、誰よりも早く動き、適切に投資し、進化を止めない企業姿勢が求められています。DMB としては、“繋ぐ・切る”の技術を武器に、そしてこれまで積み重ねてきた品質・信頼を土台に、Aratas の圧倒的な機動力により、より一層顧客に寄り添って、先回りして提案する事業体へと変革を続けていこうとしています。

オムロンは、2026年3月30日付「デバイス&モジュールソリューションビジネスの会社分割（吸収分割）及び承継会社の株式譲渡（子会社等の異動）に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、DMBを吸収分割により本年7月に分社化し、承継会社はAratas株式会社に名称変更される予定です。オムロンは構造改革に取り組み、DMBがAratasへと発展していくために様々な支援を継続し、カーライルが主たる株主となる新体制の発足後も、同社の順調な発展を持続的に支えてまいります。

■ 現DMB事業の概要

- ・売上高：1,054億円（オムロングループの13%）（内、海外売上比率73%）
（2024年度実績）
- ・事業概要：リレー、スイッチ、コネクタ、センサ等
（家電、モビリティ（EV）、FA、エネルギー・マネジメント、ゲーム他、
幅広い分野で人と機械を快適につなげる先進的な電子部品）
- ・生産拠点：10（日本×6、インドネシア、マレーシア、中華圏×2）
- ・営業拠点：31（日本×3、アジア・パシフィック×10、米州×4、中華圏×5、欧州×9）
- ・開発拠点：4（京都、岡山、愛知、滋賀）
- ・製造数量：20億個（年間生産量）
- ・従業員数：7,600人（グローバル人材比率70%）

■ Aratas 株式会社（予定）の概要

| | |
|-------|---|
| 会社名 | : Aratas 株式会社 |
| 所在地 | : 京都府京都市 |
| 代表者 | : 代表取締役 江崎雅彦（予定） |
| 設立年月日 | : 2026年7月1日（予定） |
| 事業内容 | : 電子部品、及び、電気機械器具の製造及び販売他（予定） |
| URL | https://components.omron.com/jp-ja/ |

<関連リンク>

オムロン 長期ビジョン「Shaping the Future 2030」

<https://www.omron.com/jp/ja/vision/sf2030/>

オムロン電子部品事業

<https://components.omron.com/jp-ja/>

<オムロン株式会社について>

オムロン株式会社は、独自の「センシング&コントロール+Think」技術の中核としたオートメーションのリーディングカンパニーとして、制御機器、ヘルスケア、社会システム、電子部品、そしてこれらの事業をつうじて取得した多種多様なデータを活用したデータソリューション事業を展開しています。1933年に創業したオムロンは、現在では全世界で約2.7万人の社員を擁し、130ヶ国以上で商品・サービスを提供し、よりよい社会づくりに貢献しています。

詳細については、<https://www.omron.com/jp/ja/> をご参照ください。

■ 本件に関する報道関係からのお問い合わせ先

オムロン株式会社 デバイス&モジュールソリューションカンパニー 企画室

広報責任者 久保達哉

TEL: 携帯番号 / 070-4470-5414

E-mail: tatsuya.kubo@omron.com

オムロン株式会社 ブランドコミュニケーション部

松岡 正美

TEL : 075-344-7175 (広報代表)

E-mail : masami.matsuoka@omron.com